

小学校外国語活動巡回指導教員として帯広市内小学校の英語力向上に向けた取組

帯広市立南町中学校 教諭 野村香織

1. 実践テーマの趣旨

平成28年度から、帯広市内小学校26校を3年間かけて巡回し、これまでの中学校教員としての専門性と経験を生かして模範授業やT・T、校内研修の講師等を勤めながら、小学校における外国語活動や外国語科の質の向上に向けて力を注いできました。また、帯広市教育委員会の研修講座の講師としても、英語力向上の視点を生徒のみならず、教師側の立場を常に考え、たえず寄り添いながら授業改善に努めてきました。

2. 実践の内容

①模範授業の実施

小学校の現場では外国語の授業を一度も経験したことがなく、2020年度からの外国語科や外国語活動の本格実施に不安を抱いている先生方が少なからずいらっしゃるのことがわかりました。そこで、模範授業を通し1時間の授業の進め方や教材の使用の仕方、classroom English を実際に見たり聞いたりすることにより、外国語の授業のイメージがしやすくなるのではないかと考えました。実際に、その後のT.Tの授業や担任のみの授業にスムーズに移行することができました。

また、模範授業を外国語の授業を実際に行っていない低学年の担任や特別支援学級の先生にも自由に参観してもらえるよう時間割を調整していただき、全職員が研修を行える環境も作っていただきました。

②ティーム・ティーチングの実施

模範授業を何度か行ったあと、私がT1、学級担任がT2になり授業を行いました。具体的には、担任が初めと終わりの挨拶や子供の励ましや声掛けを行い、私が授業の進行をするといった具合です。その後T1とT2の役割を交代し、学級担任が授業を進めていくうちに、徐々に外国語の授業に対する不安感がなくなりつつあるのを感じました。また、子供たちが担任の一生懸命に外国語に取り組む姿を見て「私たちも外国語を頑張ろう」という向上心が見られたことは大きな成果です。



③校内研修の実施

各小学校で校内研修を実施しました。この研修は基本的に全職員対象とし、外国語の授業を行った経験がない先生方も対象です。「これからの外国語教育」について話した後、classroom English を練習したり、授業で行ういくつかのActivity を実際に行なったりとどの先生方も外国語に対しての不安感を和らげる内容にしました。



④外国語通信の活用

年間約20号作成し外国語に関する情報を発信しました。内容は以下の通りです。

- 教材を整えよう（カードなど）
- クラブルームイングリッシュを使ってみよう
- 単元の構成を踏まえ、1時間の授業を行おう
- アクティビティ（ゲームなど）のアイデア
- 3ステップで単元を考えよう
 - 各学校の実践紹介～英語教室を作りました！
- 「文字」と「読み書き」の指導
- ALT との効果的な連携の在り方について
- これからの外国語科、外国語活動
- アルファベットのフォントについて
- 文字の書き方、書き順について～デジタル教材の活用
- 歌、チャンツの活用
- 絵本の活用
- 小中連携の大切さ

外国語活動通信 No.1

帯広市小学校
外国語活動巡回指導教諭
帯広市立南町中 野村香織

小学校外国語巡回指導でお世話になります

はじめまして。今年度、小学校外国語巡回指導として帯広市の10小学校を訪ねることにしました。南町中学校の野村香織です。1年間どうぞよろしくお願ひします。

“小学校外国語巡回指導教員研修事業”ですが、2020年度小学校英語教科全面実施(今年度より移行期間)を控えた今、求められているのは外国語活動、英語科の更なる充実です。北海道では、これに向けた施策の一つとして一昨年度から行うことになりました。

基本的に月曜日の本務校(南中)勤務以外の曜日を小学校訪問にあてています。昨年度までに、柏小・北栄小・稲田小・豊成小・花園小・開西小・つじが丘小・川西小・西小・啓西小・大空小・栄小・若葉小・広徳小・明和小・森の森の16校を巡回しました。今年度は以下の学校を巡回する予定です。

●H30年度巡回校

	月	火	水	木	金
1週目	南町中(本務校)	帯広小 昭徳小	明徳小	清川小 広野小	緑丘小
2週目	南町中(本務校)	東小 緑丘小	大正小 榮徳小	啓北小	光南小

*基本的にこのようローテーションで2週に一度訪問します。

外国語通信 No.1.1

帯広市小学校
外国語巡回指導教諭
帯広市立南町中 野村 香織

これからの外国語活動・外国語

先日、小学校外国語のセミナーに参加してきました。文部科学省国立教育政策研究所の教育課程調査官である直山木綿子氏の講演を聞くことができました。

次の3点についてお話がありました。

① 専科教員 ② 学習評価 ③ 新教材 (We can, Let's try)

① 専科教員について

- ・「教員の働き方改革」により専科教員の配置され、平成30年度は全国2万校に1,000人の専科教員を配置した。来年度もさらに1,000人を予定している。
- ・要件は、「英検準1級程度の英語力がある」または「中学英語免許保持者」または「海外在中経験のある人(2年以上)」。
- ・専科教員は、T.Tをせず一人で授業を行い、週24時間以上の授業時数を受け持たなくてはならない。もちろん評価も行う。
- ・文科省の基本姿勢は**学級担任が外国語の指導をする**ということには変わりがない。これは外国語活動が始まった時から一貫して変わらない。
- ・小学校の先生方には英語力をブラッシュアップしてもらいたい。もしかすると将来、英検0級以上習得して下さいという時代が来るかもしれない。せめて、中3くらいまでの英語力をつけたい。

② 学習評価について

- ・現在のところまだ決まっていない。平成28年12月の中教審答申に書かれているところまで。
- ・評価の観点には現在4観点「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」から3観点「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性」。

外国語通信 No.1.2

帯広市小学校
外国語巡回指導教諭
帯広市立南町中 野村 香織

外国語の教室を作ってみました！！ in 緑丘小学校

訪問校のひとつである緑丘小学校では、先日外国語教室である通称Eルームが開設されました！研修館が中心となり進めていたようです。どのような教室かという・・・

・児童用の椅子が40個あり、机の高さは実学年の高さに揃えている。・・・

・後ろの壁にクラブルームイングリッシュの拡大版を掲示しており、教師側から見える。・・・

・TVとパソコンも常設。パソコンは各机に支給されているタブレット型パソコンに、Hi, friendsとWe can!と、Let's Try!をインストールしている。・・・

・1クラス全員分のリモートされたローマ字教(アルファベット教)が用意されている。・・・

・和英辞典がグループ分程度置いてある。・・・

・「アルファベット(数字)」「月」「曜日」「天気」のポスターが壁に掲示されている。・・・

・教室の横には、カテゴリーごとの絵カード(A4またはB5)ミニカード(グループの数分用意されている)。・・・

・Eルームの使用の決まりを作り、使用した子供たちに大切に使うように指導している。・・・

・We can! Let's try!のワークシートも英語力に応じたレベルを揃え、ファイルに入れ職員室に保管している。教師はそこから授業に必要なワークシートを選び、必要枚数を印刷できる。

いかがですか。今後外国語教室を考えている学校は参考にしてください。普段の教室で授業をするよりも雰囲気が変わり、見直しはもちろん、教師自身も外国語学習へのスイッチの切り替えがしやすいと思います。・・・

3. 実践の成果と課題

現在、小学校の現場では多くの先生方が前向きに外国語科、外国語活動の導入に向け研修を行っています。しかし、専門外の分野であることに対する不安感が否めません。この巡回指導研修事業を通し、先生方が少しでも自信を持ち、子供たちに毎日笑顔で接することができるようサポートすることができていれば幸いです。また、中学校教員としての立場から、今後さらに小中の交流、連携を行っていかねばならないと考えます。小学校と中学校の教員がお互いの授業を積極的に参観し、教科書や教材を実際に見ることで小中の学びの段差が更になくなっていくのではないかと思います。外国語教育の新たなステージはまだ始まったばかりです。たくさんの先生方の実践と議論で子供たちを笑顔にしていけたらと期待しています。